

フィリピン

マルコスから
アキノへ

浅野幸穂 著

浅野幸穂 著

フィリピン——マルコスからアキノへ

アジア経済研究所

フィリピン——マルコスからアキノへ

筆者紹介

浅野 幸穂（あさの ゆきは）

アジア経済研究所研究主幹

一九六一年 東北大学大学院修士課程修了、アジア経

済研究所入所

一九六七～六九年 フィリピン派遣（フィリピン大学

経済学部）

一九七六～七八年 アメリカ合衆国派遣（コーネル大

学東南アジア・プログラム、ブルッキン

クス研究所）

一九八六～八八年 動向分析部長

主著

『中ソ対立とアジア——一九六八～七五』（編著、一九七七年）、『アキノのフィリピン——混乱から再生へ』

（編著、一九八八年）など。

アジア現代史シリーズ 2

フィリピン——マルコスからアキノへ

著者 浅野 幸穂

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 (3353) 4231(代)

1992年1月22日発行© 無断転載を禁ず 印刷/製本 三陽社

1993年3月5日第2刷発行 ISBN 4-258-21002-1 C 3033

発売所 アジア経済出版会

東京都新宿区市谷本村町42

電話(3353)1640 FAX(3357)0435 振替東京5-143692

定価 2884円（本体 2800円）

アジア現代史シリーズ ②

定価2884円(本体2800円)

ISBN4-258-21002-1 C3033

はじめに..... 1

第1章 独立後のフィリピンと一九六〇年代..... 9

1 フィリピン政治の特質..... 10

(1) フィリピン独立の構造..... 10

(2) 政治社会構造..... 21

2 一九六〇年代の時代状況..... 31

(1) 工業の発展と農業..... 32

(2) ナシヨナリズムの再生..... 38

(3) 社会問題と社会運動..... 44

第2章 マルコス政権、戒厳令への軌跡..... 55

1 マルコス政権の新しさ..... 56

(1) 国益本位の対外政策..... 57

(2) 斬新な開発戦略..... 62

(3) 政治手法の特徴..... 67

2 再選の達成とその代償 74

(1) 一九六九年の大統領選挙 74

(2) 経済、社会情勢の悪化 77

3 永久政権化をめぐる攻防 83

(1) 支配層内部の闘争 83

(2) 制憲会議から戒厳令へ 89

第3章 戒厳令下のフィリピン——改革と挫折……………97

1 戒厳令体制の出現 98

(1) 政権永続化の手続き 98

(2) 戒厳令の動機と条件 102

(3) 戒厳令とアメリカ 107

2 改革と開発 112

(1) 戒厳令下の諸改革 113

(2) 挫折とその原因 125

3 戒厳令下の政治情勢 136

(1) 戒厳令体制の構造 136

(2) 反マルコス勢力の動向 140

(3) 戒厳令解除に至る政治制度の変転 147

第4章 アキノ暗殺から「二月革命」へ……………

1 アキノ暗殺事件の意味

(1) マルコスとアキノ 160

(2) アキノ暗殺事件の衝撃 167

2 政権延命をめぐる攻防

(1) 政治危機の焦点 181

(2) 繰上げ大統領選挙へ 191

3 大統領選挙から「二月革命」へ 200

(1) 繰上げ大統領選挙 201

(2) 「二月革命」 210

第5章 アキノ政権、安定化への苦闘…………… 223

1 アキノ政権の確立過程 224

(1) 政権初期の人的構成 225

(2) 制度的基盤の整備 230

(3) 多数派の形成 238

2 「平和と国民和解」路線の挫折 250

(1) みずから狭めた権力基盤 250

(2) 収まらない政情不安 259

第6章 引き続き開発と改革の課題

278

- 1 狂った経済再建のシナリオ
- 2 フィリピン情勢の前途

302

あとがき

315

注

344

略年表

349

主要略語表

352

索引

363